

船舶事故等調査報告書

平成23年5月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第9号	
事故等種類	旅客負傷	
発生日時	平成23年1月16日（日） 04時55分ごろ	
発生場所	東京都八丈町八丈島南南東方沖 八丈島灯台から真方位159°60海里付近 (概位 北緯32°8.8′ 東経140°16.0′)	
事故等調査の経過	平成23年1月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>貨客船 おがさわら丸、6,700トン 135861、小笠原海運株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海）	
死傷者等	軽傷 3人（旅客）	
損傷	舷窓ガラス1枚破損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか23人が乗り組み、旅客407人を乗せ、貨物約100tを積み、速力約18.5ノットで八丈島南南東方沖を北北西進中、平成23年1月16日04時55分ごろ、打ち上げた波の衝撃で船尾部左舷側の客室の舷窓ガラスが破損し、飛散したガラス片により二段ベッドで就寝中の旅客3人が切り傷を負った。</p> <p>負傷者は、旅客として乗船していた医師により治療された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 10、波高 約6m 東京都伊豆諸島南部に波浪警報、強風注意報発表中</p>	
その他の事項	<p>本船の横揺れ角度は、本事故当時、約25°～30°であった。</p> <p>破損した舷窓ガラスは、海面上約7.5mの高さにあり、厚さ10mmの長方形（四隅丸切り込み型、寸法：770mm×570mm）であった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし なし あり</p> <p>本船は、八丈島南南東方沖を航行中、打ち上げた波の衝撃により客室の舷窓ガラスが破損し、飛散したガラス片で旅客が切り傷を負ったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、八丈島南南東方沖を航行中、打ち上げた波の衝撃により客室の舷窓ガラスが破損したため、飛散したガラス片が旅客に当たったことにより発生したものと考えられる。</p>	